

VI 冬のイベント

雪質日本一フェスティバル
ミニ雪像コンテスト
スノーランタンフェスティバル
タイムバトル
北の天文字焼



冬のイベント

●雪質日本一フェスティバル

毎年2月に行われる名寄の冬最大のイベントです。期間中名寄市内中心の南広場で樹氷まつり、ミニ雪像コンテスト、北の天文字焼きなどいろいろな行事がおこなわれます。

なかでも中央会場では、毎年子供達に大人気のキャラクタージャンボ滑り台や、国際的レベルをもった人たちの雪像コンテスト・市民の団体が作る雪像コンテストも実施され、フィナーレは若者達の力で実施されるたいまつ行進で幕を閉じます。豪華景品のあたる抽選会や、冬ならではのあもしろ競技、スノーモービル遊覧・屋台など冬の寒さを忘れさせてくれる北北海道最大の冬のイベントです。

問い合わせ 名寄商工会議所 (01654-3-3155)



●ミニ雪像コンテスト

親と子のふれあいと北国の生活にゆとりと楽しさを求めてはじまったミニ雪像コンテストは、1998年で19回を迎えています。家の前や空き地で親子や友達でちいさな雪像を作り、コンテストに参加してもらうシステムは町中が雪祭りというイベントの新しい形となりました。

年度毎にその参加基数は変わってきていますが、今までに制作されたミニ雪像は2万基をこえ、名寄の冬の風物詩となっています。毎年2月になると、今年は何を作ろうかと楽しみに話す人々の笑顔が名寄の冬の文化なのかも知れません。

問い合わせ 名寄商工会議所 (01654-3-3155)

●スノーランタンフェスティバル

雪の中にほのかな雪あかりをともし、楽しく暖かな雰囲気冬の遊びとしてして、すっかり名寄市民のなかに定着したスノーランタン。産みの親は雪遊びの先生・秋田谷英次（元北大低温研所長）さん。

一年に1回、市民が大学公園に集まって楽しい時を過ごします。参加型の楽しいイベント、2000個に及ぶランタンはいずれも力作ぞろい、点火した後、大学のベランダから観た夜景は函館以上とも。暖かい格好でぜひ一度お出かけ下さい。

問い合わせ 名寄市役所 総務課 (01654-3-2111)



●タイムバトル

なよろの春の訪れ、冬結氷する名寄川の「解氷日」をあてる誰でも参加出来るゲームです。

名寄川の冬の素晴らしい写真を撮り続けた長谷川功さんの絵はがき（500円）を買うとついてくる応募葉書にて、解氷の日時をあてて下さい。的中者には賞金が授与されるという、冬のひと味違った遊び方です。

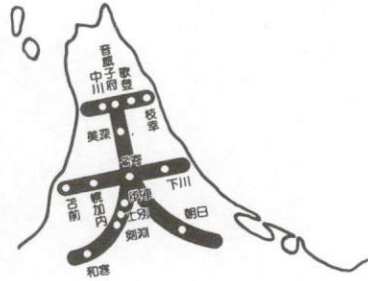
解氷日時は名寄川に設置された特殊な装置で公正に記録されます。ピヤシリスキー場に行く途中の日進橋からこの標識が見えます。応募された人たちには、スキー場に行く途中の楽しみとして人気上昇中です。

この絵はがきは、湯川名文堂・スポーツのすま・学海堂書店・北国博物館で購入できます。

問い合わせ 名寄市役所 建設部 (01654-3-2111)

「北の天文字焼き」

北の天文字焼きは平成元年、まちおこし集団「助っ人」が北の遊星人の提唱する北の「星座共和国」の基本構想（名寄市を中心とする北・北海道の14の市町村を線で結び「天」という文字が出来上がる）をもとにはじめた火文字焼きです。その意図は、一つの町の輝きよりもそれぞれの町の輝きを集めて、この地域としてより強く輝こうというまちおこしの発想が入っています。厳冬の2月、第2土曜日（平成10年は第1土曜日でした）の午後7時、名寄市の東側に位置する通称「太陽の丘」という小高い丘に、縦200m、横150mほどの「天」という火文字を燃やします。



●「天文字焼き」の楽しみかた

- (1) 山の部（天文字焼き点火）：点火参加者のために、午後5時頃に雪祭り会場からバスでの送迎を行っています。山には約250個のドラム缶が配置され、参加者は登録後に指定のドラム缶に一人または一家族が配置されます。点火前の山では澄んだ星空と名寄の街の明かりを見ることが出来ます。「天」の文字の点火は、参加者が手渡しで書き順どおりに伝えられます。寒い冬の夜のこの感動は山に参加した者にしかわかりません。
- (2) 見る集い：雪質日本一フェスティバルの会場で、50台の焼き台で約700人が寒い冬の夜をジンギスカンで楽しめます。会場では「天」の火文字を見ながら、天文字太鼓、天文字歌謡ショー、松明御輿（ご神体は喜多天神社）、花火による演出などで楽しめます。
- (3) 写真コンテスト：市内各所で「天」の文字を撮影することが出来ます。2月末日までに市内のカメラ店に申し込んでください。

●ボロ布の提供のお願い

「天」の火文字はドラム缶に入れたボロ布と灯油が燃えることによって作られます。市民のみなさんのボロ布のご提供をお願いします。1、2月の広報、名寄新聞をご覧ください。

資料提供 北の天文字焼実行委員会

Ⅶ 名寄から1時間でいける温泉ガイド

名寄 なよろ温泉サンピラー

下川 五味温泉

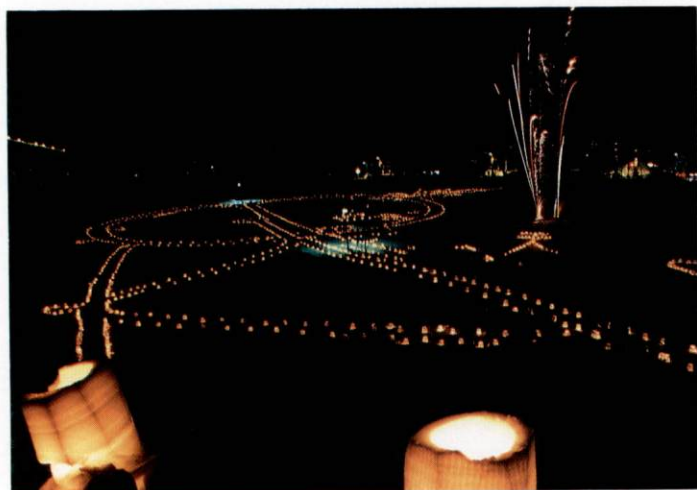
美深 びふか温泉

士別 日向温泉

剣淵 レークサイド桜岡

音威子府 天塩川温泉

西興部 ホテル森夢



●なよろ温泉サンピラー



名寄市字日進
01655-4-3311

平成9年12月1日にリニューアルオープンした“なよろ温泉「サンピラー」”は、夏のピヤシリ登山や冬のスキー、スノーボードなども楽しめる観光客や市民待望のくつろぎの施設です。雪質日本一のピヤシリスキー場の麓にあり、アフタースキーに温泉を楽しむことができます。一日の疲れを「なよろ温泉」の天然の湯が癒してくれるでしょう。

大浴場には、ゆったりとした浴槽に檜風呂、パイプラ風呂、サウナルームも併設しています。スキーグレンデを一望できる120人収容のスキーヤー専用の大食堂も完備しており、冬場の休日を一日ピヤシリで楽しめます。客室は和室、洋室の全34室が用意されており、どの部屋からもピヤシリの四季折々の風景が堪能できます。食事はの山海の幸をふんだんに取り入れた和・洋・中の嗜好を凝らした多彩なメニューがもてなしてくれま

す。36畳の和室、最大80名収容の研修室などがあるので、研修や各種合宿の拠点としても利用できます。隣接している体育センターピヤシリフォレストは、室内スポーツをエンジョイできる多目的ホールをはじめトレーニングルームや会議室が整備されており、年間を通して利用できます。

市街からの温泉バスが一日4便、冬期はスキー場行きの名士バスもあるので気軽に遊びに行ってみるとよいでしょう。

一泊/6500円～外来入浴/大人400円・小人200円（10：00～21：00）

泉質/カルシウム、ナトリウム二硫酸塩、炭酸水素塩泉

効能/神経痛、冷え性、皮膚病、糖尿病、肝臓病、疲労回復、

筋肉痛、他

●五味温泉



上川郡下川町斑溪

016554-3311

山合いの自然に囲まれた、静かで落ち着いた一軒宿。季節によっては山菜採りも楽しめるが、冬はゆったりと野鳥を眺めながら心を休めるのに最適です。歓迎門をくぐり、ホールに入ると木製の装飾壁「陽と月と長城」がそびえ立ち、斬新な雰囲気印象的です。

浴場は鉄分とラムネの味のする炭酸重曹泉（冷鉱泉の沸かし湯）と、真湯の2つの湯船があります。この地殻の深いところから湧き出す炭酸泉は炭酸ガスが皮膚を刺激し、血液の循環を活発にして無理なく体が温まります。サウナも備え、モザイクの南欧調の背景画がゆったりした湯浴みの気分を高めています。

食事は季節によって異なりますが、鴨鍋や猪鍋が賞味できます。また、下川名産の“手延べ麺”をつかった“うどん鍋”もお勧めです。

名寄駅前から下川行きバスで30分、終点で循環バスに乗り換えて10分で五味温泉に到着します。11月・2月がすいているので電話で予約を試みるとよいでしょう。

一泊／5400円～

外来入浴／大人300円・小人150円（10：00～21：00）

泉質／炭酸重曹泉

効能／心臓弁膜症、高血圧、白ろう症、貧血症、胃腸病

●びふか温泉



中川郡美深町字紋穂内139
01656-2-2901

美深町内から北へ、国道40号と天塩川にはさまれた水と緑豊かな森林公園びふかアイランド内にある温泉。ロビー入口の大きな水槽に泳ぐチョウザメが訪れる人々を出迎えてくれます。

温泉は昭和55年に地下ボーリングによってポンプアップされました。鉱泉のため沸かし湯ですが、よく温まり、湯冷めしない温泉です。浴室は明るく、まるで露天風呂に入っているような、採光のよい大浴場です。20名ぐらいがいちどに入れる湯船があり、洗い場のスペースも広くて、気持ちよく湯浴みができます。

三日月湖（旧天塩川）に面した森林公園びふかアイランドには、夏期はカヌーポートやキャンプ場のほか、ターフゲレンデ、サッカー場、野外ステージ、パークゴルフ場などが利用できます。美深町の恵まれた自然環境を生かし、農村のもつ生活、文化、歴史とのふれあいや、町の活性化を図るための体験交流の施設であるふるさと館。そして、三か月前からの予約が必要なログコテージは人気の的です。

宿の名物料理は、チョウザメ料理、冬場に味わえるチョウザメのキャビア。また、館内の売店で買える珍しいものに、シラカバの樹液100%の「森の雫」があります。「飲む森林浴の清涼飲料水」として人気のあるおみやげです。

名士バス温根内行に乗り、びふか温泉前より徒歩1分。水の郷（さと）百選の町として、また、チョウザメの棲む町、「道の駅びふか」の物産展示館双子座館など、旅行者のオアシスとして脚光を浴びる道北観光のスポットです。

一泊／5700円～外来入浴／250円（10：00～21：00）

泉質／ナトリウム塩化物、炭酸水素塩泉

効能／神経痛、皮膚病、婦人病他

●日向温泉（ひなた）

士別市多寄町日向

01652-6-2021



明治時代の末期に田口善治郎氏が、農場近くの天塩川西沿岸に湧き出していた鉱泉を発見、そこに温泉場を開いたのが日向温泉の始まりでした。林業に従事する人や、地元の人々の憩いの場として、明治以来親しまれてきた「日向温泉」。春夏秋冬、山の美しい閑静な郷は、訪れる人を旅情に誘います。建物は士別市日向スキー場の下の高台に建ち、風連町の田園風景が見晴らせます。

周辺の日向公園には、バンガロー付きのキャンプ場があり、家族連れや仲間同士のアウトドアライフに最適です。冬には日向スキー場でスキーが楽しめます。蛇行しながら流れる天塩川を眺めながら、眼下に広がる白一色におおわれた雪原の中を滑走するのは実に爽快な気分を味わわせてくれます。なお、ゲレンデは、初夏はシバザクラの花畑となり見事な光景が楽しめます。

温泉はすべすべした湯で、源泉を加熱して使用。泉質の効能も豊かで、疲労やストレスを癒すのに最適です。風呂場は明かるく、男湯女湯ともいちどに20名ぐらいが入れる広さで、サウナも完備。

また、自慢の山菜料理はポリウムたっぷり味も最高で訪れる人々に喜ばれています。おすすめは、旬の味覚をいかした日向鍋、各種サフォーク料理です。

名寄からJRで風連へ、風連駅前から士別軌道のバスに乗り日向温泉へ。送迎バスもあるので電話予約の際、問い合わせてみるとよいでしょう。

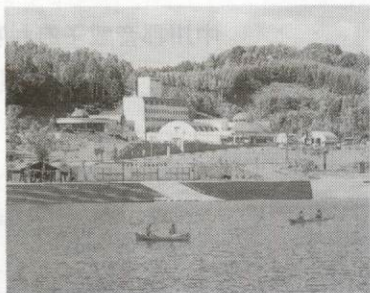
一泊／4800円～

外来入浴／大人300円・小人150円（10：00～20：30）

泉質／硫化水素泉

効能／神経痛、リュウマチ性疾患、痛風、慢性中毒症、糖尿病、しもやけ、にきび等

● 剣淵温泉レークサイド桜岡



上川郡剣淵町第I区

016534-3100

「けんぶち絵本の館」のある剣淵町の市街から東へ5km、周囲の自然を彩り豊かに映し出す桜岡湖を望む高台に建つ「レークサイド桜岡」。5階建ての近代的な温泉施設で、見晴らしの良い3～5階が客室になっています。やわらかな光が満ち開放感のある広々としたロビー。客室もハイグレードなイメージがただよ、四季が奏でる風景を楽しみながら、心安まるひとときを過ごすことができます。

季節季節の自然の表情を、ゆったりお湯につかりながら楽しむことができる剣淵温泉。温泉は浴用加熱していますが、ステンドグラス越しの優しい光につつまれて、心の芯から湯にくつろげます。大浴場の窓越しからは日本庭園を眺めることができ、ジェット風呂、気泡風呂、水風呂、サウナを備え、リフレッシュできます。

広い窓辺から差し込む柔らかな日差しに包まれて、獲れたての旬の味覚を楽しめるレストラン湖水桜。豊かな自然の恵みを多彩にアレンジしたメニューが用意されています。

さらに温泉を囲むようにキャンプ場や運動広場、憩いの広場などの施設が整備されており、冬には“びばがらすスキー場”、そして桜岡湖のワカサギ釣も好評です。

JR剣淵駅から一日4便の無料送迎バスが出ているので日帰り入浴も十分に可能です。

思い思いに遊び、思い思いにくつろぐ。心豊かに楽しめる時間を期待できます。

一泊/6500円～外来入浴/大人400円・小人200円(11:00～20:00)

泉質/単純温泉(弱アルカリ性低張性低温泉)

効能/神経痛、筋肉痛、関節痛、冷え症、慢性消化器病など

●住民保養センター 天塩川温泉

おといわっふ
中川郡音威子府村咲来

01656-53330



天塩川と背後は山に囲まれた閑静なたたずまいの天塩川温泉は、治療や健康に村民はもとより遠く村外からの湯治客も訪れる。温泉は大正初期に発見され、道内でも古い伝統をもつ温泉のひとつで、珍しい良質の飲用薬として親しまれています。

光が降り注ぐ明るい大浴場からは、天塩川を眺めながら楽しい入浴が期待できます。外には雄大な眺めの石組の露天風呂があり、いちどに7～8名が入れます。寒さが厳しいため、露天風呂に入れるのは春から秋の間ですが、道北の温泉宿としては、露天風呂は貴重な存在でしょう。夜には満点の星空が広がり、とてもロマンチック。

お楽しみの食膳は、音威子府の大自然が育んだ自慢の山の幸がいっぱい。まわりの自然は新鮮な山の幸の宝庫で、四季折々に旬の味覚が並びます。豊富にとれる山菜とヤマメなどの川魚が中心で、予約で鴨鍋も味わえます。

名寄からは、JR天塩川温泉駅で下車し徒歩10分。冬には、駅に隣接した音威富士スキー場で楽しむこともできます。12月・1月は合宿などのため予約がとりづらいため、それ以外の時期に電話予約をしてみるとよいでしょう。

一泊／5500円～

外来入浴／200円（9：00～8：30）

泉質／含硫黄=ナトリウム・塩化物・炭酸水素塩泉（硫化水素型）

浴用一神経痛、リウマチ、痔疾、慢性消化器病、慢性皮膚病

飲用一慢性消化器病、慢性便秘、糖尿病、痛風、肝臓病

●ホテル森夢（りむ）



おこっぺ
紋別郡西興部村字西興部492番地

01588-7-2000

森林面積が総面積の89%という西興部村は、緑がいつぱいの森の村。清らかな溪流には魚が跳ね、木々の梢では小鳥がさえざります。はるかウ

エンシリ岳を望み、緑豊かな原生林に囲まれ、都会では失われた手つかずの大自然の優しさが満ちています。

雄大な大自然に囲まれた「ホテル森夢」は、清潔感にあふれ、質の高いデラックスなサービスでもてなしてくれます。あたたかく迎えてくれるエントランスロビーは広々と明るく、部屋はシングルとツイン、そしてVIPはシティホテル感覚のプライベートルーム。和洋室がありますが、いずれもハイセンスな内装とくつろげる雰囲気好評です。

サウナ・パイラバス・ソーリン浴・薬湯・寝風呂・水風呂など、大自然の中でゆったりと湯を楽しみ、心も体も芯からくつろげるリラックスペースです。温泉は光明石を主な泉源としています。放射性元素を含む天然鉱石の中でもっともイオン化作用の強いとされる光明石は、神経痛、リウマチ、肩こり、冷え症、腰痛、痔、疲労回復などに効用があるとされています。

食事は一流ホテルで腕を磨いたシェフが、新鮮な山の幸を心をこめて料理します。単品メニューからフルコースまで、そのおいしさ、美しさは絶品です。おすすめは、鹿肉を使った鹿料理。

ホテルには村の図書館が並んでおり、子ども向けから専門書まで用意され、宿泊客も利用できます。のんびりと読書にふけるのもよいでしょう。帰りにロビーで返却できるので、とても便利です。近くには氷のトンネルや森林公園、興楽園、宮の森スキー場などがありますが、ホテルから少し距離があります。名寄からはバスで60分、9名まではホテルの送迎があるので問い合わせをして見るとよいでしょう。

一泊/7500円～

外来入浴/大人400円・小人200円（11：00～22：00）

名寄の冬を楽しく暮らす条例（平成元年12月8日制定）

（前文）

氷点下30度のしばれ、青空に映えてきらきらと輝く樹氷、真っ白い雪像のならぶ街並の中で、私たち名寄市民は、北国特有の生活と文化を創りだしてきました。

しかし、いまだ雪や寒さとの付き合いは、必ずしも十分とはいえません。私たちは「名寄の冬をいかに楽しく、快適に暮らすか」を願っています。

私たちは、一人ひとりの創意と工夫、責任と役割により、雪が多く寒い気候・風土に適した、名寄らしい魅力のある生活環境と文化の創造に努め、より快適で楽しく暮らせるまちづくりをすすめるために、この条例を制定します。

（目的）

第1条 この条例は、市と市民が互いに協力し、一体となって冬に強いまちづくりをすすめ、快適な市民生活と、雪や寒さを生かして、冬的生活がより暮らしやすく、楽しいものにするを目的とします。

（市の責務）

第2条 市は、この条例の目的を達成するため、利雪・親雪計画を作り、次の項目について取り組みます。

- （1）冬の快適な道路空間の確保に努めます。
- （2）冬に強い住宅の普及に努めます。
- （3）北国の冬を楽しく、暖かく着る衣生活の普及に努めます。
- （4）北国の豊かで楽しい食文化の普及に努めます。
- （5）市技スキーの推進等、冬のスポーツ、レクリエーションの振興を図ります。
- （6）名寄発信冬的生活文化の創造に努めます。
- （7）雪や寒さを生かした産業の振興を図ります。

2 市は、前項の実施にあたり、高齢者や障害者などに配慮するとともに、市民が自主的に実施する雪と寒さ対策について適切な支援と調整を行います。

（市民の役割）

第3条 市民は、冬に親しみ、冬を楽しむ暮らしづくりと快適な冬の生活環境づくりのため創意と意欲をもって、次の事項に取り組みます。

- (1) 冬の道路空間の確保のために除排雪に積極的に協力し、路上駐車等により除排雪作業の妨げにならないよう努めます。
- (2) 雪処理、落雪等に対しては、互助協力の意識をもって、北国の生活マナーを守ります。
- (3) 北国の冬にふさわしい暖かく、楽しい装いに創意工夫します。
- (4) 豊かな、地場産品を生かして、北国の食文化づくりをすすめます。
- (5) 北国の生活に根ざした住まいづくりをすすめます。
- (6) 冬の生活をいきいきと過ごすため市技スキーをはじめ、冬のスポーツ活動に参加します。
- (7) 冬の生活が、楽しいものとなるようアウトドア行事をはじめ、冬のレクリエーション、イベントなどに積極的に参加します。
- (8) 北国の芸術文化活動を積極的にすすめます。

(利雪・親雪推進市民委員会)

第4条 この条例により、次に掲げる事項を審議推進するため、名寄市利雪・親雪推進市民委員会（以下「市民委員会」という。）を置きます。

- (1) 雪と寒さに強いまちづくりの推進に関すること。
- (2) 雪と寒さに親しむ暮らしづくりの推進に関すること。
- (3) その他必要と認められる事項。

2 前項のほか、市民委員会の組織及び運営に関し、必要な事項は別に定めます。

(推奨)

第5条 市は、市民や団体が利雪、親雪にかかわる独創的で他の模範となる冬の暮らしの創意工夫、活動に対し、市民委員会に諮って「名寄市ホワイト・マスター」の称を贈り、推奨します。

(委任事項)

第6条 この条例の施行に関し、必要な事項は、市長が別に定めます。

制作協力者

北海道上川支庁	TEL 0166-26-1211
名寄市	代表TEL 3-2111
名寄市スポーツセンター	TEL 3-6627
名寄市北国博物館	TEL 3-2575
名寄市水道事業所	TEL 2-4600
名寄市道路センター	TEL 3-0198
名寄市立総合病院	TEL 3-3010
名寄消防署	TEL 2-3319
名寄市木原天文台	TEL 2-3956
市立名寄短期大学・生活科学科助教授	小平 洋子 大学 TEL 2-4194
〃 講師	青木香保里
名寄市立名寄南小学校 教諭	橋本かおり 学校 TEL 2-4164
道北自然観察指導員会	事務局 TEL 3-4048 (松本)
名寄スキー学校	問い合わせ TEL 2-4888 (佐藤)
名寄あるくスキー協会	問い合わせ TEL 3-2111 (内線2345・羽生)
雪を考える会代表	秋田谷英次
表紙 名寄手作り絵本の会・挿し絵	高田和子 太田由美子
資料提供	
北海道ダンロップ名寄営業所	TEL 3-6827
名寄中央病院	TEL 3-2006
岡崎内科	TEL 3-2361
(株) バレオ	TEL 3-5161
久村工務店	TEL 2-2567
清水金物店	TEL 2-4505
(株) 田村組	TEL 2-5131
「いきいきかあさんの会」名寄市智恵文	TEL 8-2457 (伊東)
北海道融雪工業会	TEL 011-222-0332
北海道寒地住宅都市研究所	TEL 011-621-4259
北海道電力名寄営業所	TEL 3-2131
(株) 大同ほくさん名寄営業所	TEL 3-3642
名寄市観光協会	TEL 3-3155
村上自動車工業 (株)	TEL 2-3141
(株) アフター	TEL 01655-4-2574
木下自転車商会 (キノシタ)	TEL 2-2281
鈴木釣り具店	TEL 3-7313
藤田産業 (株)	TEL 2-4216
NHK旭川放送局	TEL 0166-24-8808
名寄市立名寄中学校	TEL 2-2147

(順不同・敬称略)

本冊子は北海道地方振興奨励補助(地域づくり推進事業)の補助を受けて作成されました。

1998. 3.31発行

企画・編集 北国文化会議

事務局 〒096-0015 名寄市西5条南7丁目

TEL 01654-2-1135 FAX 01654-2-1332

E-mail kitaguni@hokkai.or.jp

印刷所 (株) 北方印刷所